

## ボルグワーナー、「第11回EV・HEV駆動システム技術展」で

### 将来のモビリティに向けた革新的技術を展示

- 青海展示棟A3 ブース54番にて先進的な電動化ソリューションを展示
- さまざまな段階の電動モビリティに向けた推進システム
- 電気自動車用小型バッテリーパックを日本で初めて出展

ボルグワーナー(本社:アメリカ合衆国ミシガン州アーバンヒルズ、社長兼最高経営責任者:フレデリック・リサルド/Frederic Lissalde)は2020年1月15日から17日にかけて東京で開催される、第12回オートモーティブワールド内の「第11回EV・HEV駆動システム技術展」において、高効率の電気自動車向け最先端技術の最新ポートフォリオを発表します。電気モーター、バッテリーパックおよびトランスミッション技術、パワーエレクトロニクス、「eTurbo™」技術、サーマルマネジメントシステムといった、あらゆる電動モビリティ製品を出展する予定です。

#### 先進的なコンポーネントとシステム能力

ボルグワーナーは、電気自動車向けの製品ポートフォリオを強化するために、電気自動車向けバッテリーパックの開発を目的として、2019年5月にRomeo Power Technologyと合併会社を設立しました。当製品は、極めて高いエネルギー密度を実現する小型設計の標準的な円筒形電池を搭載しています。サーマルエンジニアリングおよびバッテリーマネジメントに関する独自の専門知識を生かして開発しており、航続距離と性能を飛躍的に向上させることを目指しています。拡張性の高い設計で、顧客のニーズに合わせたカスタマイズと、メーカーが製品を市場に投入するまでの時間を短縮します。

ボルグワーナーの統合ドライブモジュール(iDM)は、特別に開発されたパワーエレクトロニクスと電気モーターおよびトランスミッションの技術を完全に統合したシステムソリューションです。オンアクシスおよびオフアクシスのP2ハイブリッドモジュールは、モーターやトランスミッションを変更する必要がなく、既存のアーキテクチャにスペースをもたらす電気モーターをオンアクシスかオフアクシスに配置することによって、既存の内燃機関車からハイブリッド車に転換できる柔軟性を自動車メーカーに提供します。高い評価を得ているS巻線ワイヤーフォーミングプロセスを用いてモーターを製造したP2ドライブモジュールは、非常にコンパクトなパッケージで高い電力とトルク密度を実現します。また、ボルグワーナーの48Vソリューションは、ピュアEVの走行と、停止/発進や回生ブレーキなどのハイブリッド機能を実現することで、迅速なハイブリッド化を可能にします。

これらのイノベーションと併せて出展する「eTurbo™」は、タービンと同じ単一のシャフトに取り付けられたモーター発電機とパワーエレクトロニクスを統合したターボチャージャーです。モーターとして機能する時は、タービンをアシストしてエンジンに補助吸気を供給します。排気フローによってタービンのエネルギーが必要以上に発生した場合は、発電機として機能し、過剰な排気エネルギーを電気エネルギーに変換します。電気機能を停止して、標準的なターボチャージャー機能に戻すことも可能です。「eTurbo™」は、Euro 7 の法規制に対応するための重要なソリューションとなり得ます。

東京ビッグサイトで開催される「第 11 回 EV・HEV 駆動システム技術展」では、青海展示棟 A3、ブース 54 番において、ボルグワーナーのハイブリッド車および電気自動車向けのクリーンでエネルギー効率の優れたソリューションの広範なポートフォリオが展示されます。

ボルグワーナーのマーケティング／広報／政府渉外担当副社長のスコット・ジレット (Scott Gallett) は、「自動車業界では、電動化分野が急激に変化しています。当社はモビリティの進化に対応するために、お客様と共に次世代の電動化技術を積極的に開発しています。また、内燃機関車、ハイブリッド車、電気自動車の推進システム向けの幅広いソリューションを提供しています。それによって、世界中の車両メーカーの需要に対応するとともに、クリーンでエネルギー効率の優れた世界の実現という当社のビジョンを後押しすることができます」と述べています。



「第 11 回 EV・HEV 駆動システム技術展」でボルグワーナーが展示するハイブリッド車および電気自動車向けソリューション  
P2 モジュール(左)、バッテリーパック(中央)、「eAxle iDM」(右)

## ボルグワーナーについて

ボルグワーナー (NYSE: BWA) は、内燃機関、ハイブリッド、電気自動車向けのクリーンで高効率な技術ソリューションを提供するグローバルなリーディングカンパニーです。世界 19 カ国 68 カ所に生産・開発拠点をもち、全世界でおよそ 30,000 人の従業員を擁しています。詳細については、[borgwarner.com](http://borgwarner.com) をご覧ください。

本プレスリリースに記載された内容には、経営陣の現在の見通し、期待、推測、予測に基づく、1995 年米国民事訴訟改革法で想定された将来予測に関する記述が含まれている場合があります。「見込む」、「考える」、「継続する」、「可能性がある」、「目的とした」、「もたらす」、「推測する」、「評価する」、「期待する」、「予測する」、「狙い」、「取り組み」、「意図する」、「見通し」、「計画する」、「潜在的」、「推定する」、「追求する」、「目指す」、「すべきである」、「目標とする」、「の場合」、「でしょう」などの文言、その変化形および同様の表現は、かかる将来予測に関する記述であることを意図しています。将来予測に関する記述にはリスクおよび不確実性が伴いますが、それらの多くは予測困難かつ一般に不可抗力によるものであり、将来予測に関する記述において表現、推定、または示唆された事柄が実際の結果と著しく異なる場合があります。そうしたリスクおよび不確実性の例として、自動車およびトラック製造（いずれも景気に大きく左右される）への当社の依存性、大手 OEM 顧客への当社の依存性、商品の入手可能性および価格、供給停止、金利の変動および外貨の為替レート、与信枠、重要な管理への当社の依存性、情報システムへの当社の依存性、世界経済環境の不確実性、様々な損害賠償に関する訴訟など既存または将来の法的手続きの結果、当社が事業を展開している国における関税など将来の法規制の変更、直近の Form 10-K/A 年次報告書に記載したリスク要因など証券取引委員会に提出する報告書に記載したその他のリスクが挙げられます。当社は、将来予測に関する記述のいずれかを更新する、または更新もしくは改訂を公表する義務を負いません。

### <報道に関するお問い合わせ>

ボルグワーナー広報事務局 副島、中井、佐藤  
TEL: 03-3571-5326 FAX: 03-3574-0316  
EMAIL: [borgwarner-pr@kyodo-pr.co.jp](mailto:borgwarner-pr@kyodo-pr.co.jp)